

目次

「ルターと聖書」

——現代に置かれている聖書に着目して

宮本 新 7

「信仰」から「真実」へ

——『聖書協会共同訳』のピステイス (Fatis) ——

立山 忠浩 43

カトリック教会の教会法秩序とルターの聖書観の対比的考察

高井 保雄 67

聖書の無謬性と神のみことば

高村 敏浩 91

ルターと翻訳

——翻訳の神学のために

江口 再起 133

ルターとドイツ語

——ルター訳聖書のドイツ語とその新高ドイツ語成立への影響

多田 哲 163

「聖書序文」にみるルターの信仰と神学

石居 基夫 191

ルターの「信仰」を問う

末竹 十大 209

Why Lutherans sing what they sing

——ルーテル教会における賛美のことは

伊藤 節彦 229

再考 バッハは、なぜ《口短調ミサ曲》を作曲したのか？

加藤 拓未 265

ルターから今を考える ―キリスト教史における臨終の伝統とルターの死の理解を手がかりに	小田部 進一	289
執筆者紹介		313
あとがき		315
欧文目次		317